

3. 豆知識

3.1. 州干(しゅうかん)弁天社

横浜村は山手方面から突き出した砂嘴(さし)。州干島と呼ばれ、先端に源頼朝が豆州土肥から移した弁財天が鎮座。その後厳島神社と名を変え、1869(明治2)年に現羽衣町に遷座しました。



図13 貞秀 横浜弁天町鳥居前通り(1860)

3.2. ヘボン博士邸

ヘボン博士は、1863(文久3)年に山下居留地39番地に転居、診療のほか見学や助手を受入れて、西洋医学の知識を伝達します。跡地には顕彰碑が建立されています。



図14 横浜谷戸橋及グランドホテル(1900-1922) 左端の黒い家がヘボン邸

3.3. 山下公園の貨物線

1980(昭和55)年、横浜開港120周年を記念するSL C58が公園内高架線路を走行します。貨物支線・横浜港〜山下埠頭間は、大黒埠頭造成や自動車輸送への移行が進んで1986(昭和61)年に廃止されます。公園内の高架部分は2000(平成12)年に撤去され、一部は山下臨港線プロムナードとして今も多くの人に親しまれています。



図15 山下公園を歩くSL(1980提供:石田俊幸氏)

4. 参考文献

- (1) 中区制50周年記念事業実行委員会編著「横浜・中区史：人びとが語る激動の歴史」(1985 中区制50周年記念事業実行委員会)
- (2) “中区わが街”刊行委員会編「中区わが街 中区地区沿革史」(1986 横浜市中区)
- (3) 横浜市歴史博物館編「近世横浜 海岸部の新田開発」(2010 横浜市ふるさと歴史財団)
- (4) 横浜市都市整備局都市デザイン室・横浜市教育委員会文化財課「都市の記憶 横浜の主要歴史的構築物」(2011 横浜市歴史資産調査会)
- (5) 芦原義信「同時代ライブラリー 続・街並みの美学」(1990 岩波書店)

5. 引用

- 図1 一川芳員「御開港横浜之図(1854-1864年)」(横浜市中央図書館所蔵)
- 図2 「絵はがき 横浜市役所及港橋」(1900-1922 横浜市中央図書館所蔵)
- 図3 「絵はがき 横浜港(山下公園)」(1923-1940 横浜市中央図書館所蔵)
- 図4 「横浜棧橋ノ景」(1900-1922 横浜市中央図書館所蔵)
- 図5 三代広重「横浜海岸通之図」(1870 横浜市中央図書館所蔵)
- 図6 「横浜公園」(昭和戦前期 横浜都市発展記念館所蔵)
- 図7 「絵はがき 神奈川県庁前日本大通り」(不明 横浜市中央図書館所蔵)
- 図8 「絵はがき 横浜馬車道全景」(明治後期-大正期 横浜都市発展記念館所蔵)
- 図9 三代広重「横浜海岸通り之真景」(1868-1888 横浜市中央図書館所蔵)
- 図10 「横浜本町」(明治後期-大正期 横浜都市発展記念館所蔵)
- 図11 三代広重「横浜商館天主堂の図」(1868-1888 横浜市中央図書館所蔵)
- 図12 「絵はがき 海外輸出貿易商の櫛比せる弁天通り」(昭和戦前期 横浜都市発展記念館所蔵)
- 図13 貞秀「横浜弁天町鳥居前通り」(1860 横浜市中央図書館所蔵)
- 図14 「横浜谷戸橋及グランドホテル」(1900-1922 横浜市中央図書館所蔵)
- 図15 「山下公園を歩くSL」(石田俊幸氏提供)

苫屋の煙ちらりほらりと立てりし處  
関内を辿る



横浜市開港記念会館

キーワードは「タウン」、山手の「ブラフ」と一対をなします。

関内とは関門の内側の意味、開港場を指します。代表的な関門が、現在の首都高速横羽線に架かる吉田橋にありました。開港当時の関内は三方を川、一方を海に囲まれた島状の帯でした。そして、神奈川運上所(現神奈川県庁)付近を境に、東の山下居留地と西の日本人町に二分されていました。

この案内は、関内地区を代表する四つの公園と五つの街並みを紹介します。

周辺あるいはルート上に JR線の桜木町駅、関内駅、石川町駅、みなとみらい線の馬車道駅、日本大通り駅、元町・中華街駅があります。山下公園から水上バスで JR横浜駅に向うのも楽しいでしょう。喫茶・軽食・レストランなど多数、気に入ったお店で休憩するのの一興だと思います。

四次元的路上観察案内書「6. 関内を辿る」 ●企画・編集：ハマトリーツ!(横浜トリエンナーレサポーター) 自主活動グループ「時をかけるヨコハマ」(内藤恵実,原田貴己,深野一穂,宮崎秀一,ゆかりん,レイミホ,匿名希望 22名) ●イラスト制作(山下昇) ●発行日: 2017年 9月 18日 ●発行・問合せ: 横浜トリエンナーレサポーター事務局 [横浜市西区みなとみらい3丁目 4-1 横浜美術館横浜トリエンナーレ組織委員会事務局内 Tel:045-228-7816 Mail:info@yokotorisup.com] ●ハマトリーツ! 公式WEB: http://www.yokotorisup.com/

四次元的路上観察の自主活動グループ  
時をかけるヨコハマ

-4-

-1-

-3-

-2-

取り揃えた商店が並んで賑やかでした。

図12 海外輸出貿易商の櫛比せる弁天通り



図11 三代広重 横浜商館 天主堂ノ図(1868-1888)

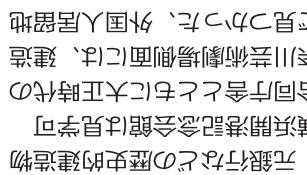


図10 横浜本町(明治後期~大正期)



図9 三代広重 横浜海岸通り之真景(1868-1888)



図8 横浜馬車道全景

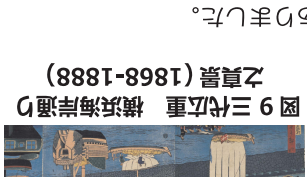


図7 神奈川県庁と日本大通り



図9は、開港当時の海岸通り、現山下公園通り付近の光景です。

図6 横浜公園(昭和戦前期)

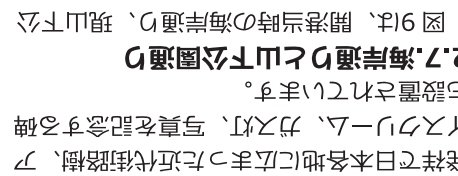


図5 三代広重 横浜海岸通之図(1870)

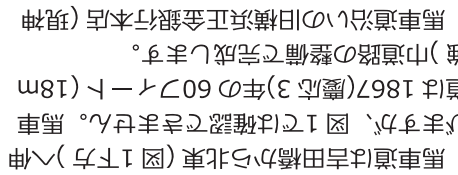


図4 横浜棧橋ノ景



図3 象の鼻パーク

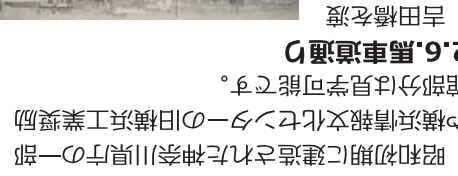


図2 横浜市役所及港橋

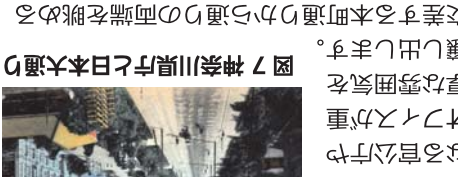
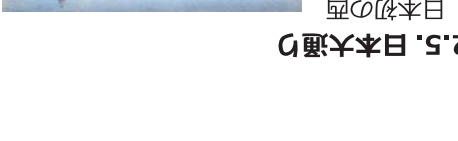


図1 一川芳員 御開港横浜之図(1854-1864)



見所は「赤い靴はいってた女の子」像など入り口部の橋は今も残ります。

図3 横浜港(1923-1940)

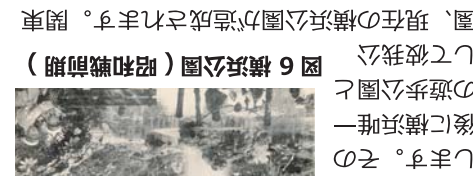


図2 横浜公園(昭和戦前期)

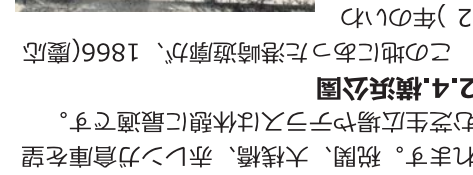


図1 一川芳員 御開港横浜之図(1854-1864)



河の歴史が少しづつ見えてくるでしょう。

図1 関内地区の街並み

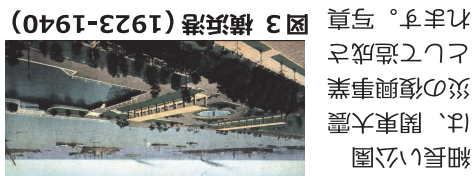


図1 関内地区の街並み

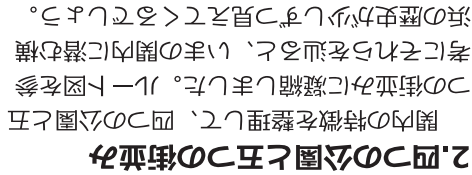


図1 関内地区の街並み

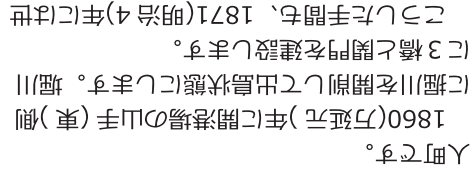


図1 関内地区の街並み



図1 関内地区の街並み



図1 関内地区の街並み



多あります。港の風景をゆくり眺め

らう時間のおかげで。洋街路、現在の西

日本初の西

### 6. ルート案内

- 歩きは始める前に
- ・起終点：JR線関内駅からの循環ルートです。ルートは何回かに分けて歩いて頂けます。途中、本町通りには地下鉄駅があります。山下公園からシーバスで JR線横浜駅へ渡るのも楽しいです
- ・距離：約 7.5km、歩行時間約 2時間半、ただし観察・休憩時間を含みません
- ・観察点番号の赤・黒は、前・後半を意味します
- ・観察点番号の前の記号は、次の意味です
  - ★案内あり、●パブリックアート、■歴史・史跡
- ・点線で表記されたルートは任意です
- ・観察点の太字表記は必須、細字表記は任意です
- ・次の次の観察点まで確認して進んで下さい

### ご参考：路面の装飾

関内は路面も華やかです。移動中のお楽しみに。



### A. 馬車道通りに沿って

- 1 吉田橋 (鉄の橋)・吉田橋関門碑
- ★2 鉄の橋案内
- 3 小田襄作 «新風»
  - 4 近代街路樹発祥之地碑
- 5 本郷新 «太陽の母子像»
- 6 マルタ・パン «平和 I»
- 7 日本最初のガス灯碑
- 8 児玉慎憲 «浜の時守»
- 9 日本写真の開祖碑 (写真師・下岡蓮杖顕彰碑)
- 10 馬の水飲み場 (車道側を向いている)
- 11 神奈川県立歴史博物館 (1904年建造)
- 12 馬車道大津ビル (1936年建造)
- C.本町通りに沿って・21へ
- 13 横浜第2合同庁舎 (1926年建造)

### B. 弁天通り

- 14 地形：旧横浜村の尾根付近 (交差点ごとに左右道路の傾斜確認)
- 15 弁三ビル (戦後の防火帯建築)

### C. 本町通りに沿って

- 16 関根伸夫 «未来に向かう帆»
- 17 スパレットィ «運動と瞑想の必要性»
- 18 日刊新聞発祥之地碑
- 19 旧横浜銀行本店別館 (YCC、1929年)
- 20 VENANZO CROCETTI «CAVALLO(馬)»
- 21 旧富士銀行横浜支店 (1929年建造) (現東京芸大)
- 22 加権敬将 «阿母»
- 23 旧東京三菱銀行横浜中央支店 (1934年建造) (旧三井銀行横浜支店)
- 24 横浜為替会社設立之地
- 25 横浜銀行協会 (1936年建造)
- ★26 生糸貿易商中井屋重兵衛店跡
- 27 三井住友銀行横浜支店 (1931年建造)
- 28 綜通横浜ビル (1930年建造)
- 29 横浜市開港記念会館 (1917年建造)
- 30 岡倉天心生誕之地碑ほか
- 31 旧横浜市外電話局 (1929年建造)
- 32 電話交換創始之地 (前にパン屋発祥之地碑)
- 33 横浜海岸教会 (1933年建造)
- 34 洋式ホテルの始まり碑
- 35 田辺和郎 «時を濾過する五つの円形補虫網»
- 36 旧露亜銀行横浜支店 (1921年建造)
- 37 岡本敦夫 «暖かい手で»
  - 38 KAAAT神奈川芸術劇場 (ロビー入場可)
- 39 旧横浜居留地 48番館 (1883年建造)
- 40 山下居留地発掘品展示
- 41 天主堂跡 (カトリック山手教会の初代聖堂)
- 42 日本洋裁業発祥顕彰碑
- 43 «碓のモニュメント»

### L. 中華街

- 102 馬祖廟
- 103 関帝廟
- 104 中華街を守る門「牌楼」 10基

### ご参考：各種案内板

多くの路上観察対象周辺に設置される案内板は、街歩きの興味を増してくれれます。参考のために代表的な形状を示しておきます。



### D. 山下公園通り (海岸通り) に沿って

- 44 ヘボン博士邸跡 (この後、歩道橋へ)
- 45 横浜人形の家
  - E.山下公園・62へ
- 46 横浜マリンタワー
- 47 山下清・原画 «横浜の今昔» (46のなか)
- 48 ホテルニューグランド本館・中庭 (1927年建造)
- 49 旧英国7番館 (1922年建造)
- 50 神奈川県民ホール
- 51 大成浩 «風の標識»
- 52 シルクセンター・シルク博物館
- 53 英一番館跡・桑の森
- 54 安田周三郎 «絹と女»
- 55 古いビル群 (横浜海洋会館・横浜貿易協会など)
- 56 開港広場・日米和親条約締結の地碑・旧横浜居留地煉瓦造下水道跡
  - H.日本大通りに沿って・81へ
- 57 横浜開港資料館旧館 (1931年建造)・玉楠の木
- 58 横浜税関 (1934年建造)
- 59 作者不詳 «警察官と少年少女像» «モニュメント»
- 60 BankART Studio NYK
- 61 横浜郵船ビル (1926年)

### E. 山下公園

- 62 石の舞台・水のアート、魚達
- 63 氷川丸 (1930年建造)
- 64 ローズガーデン (沈床花壇)
- 65 ガールスカウト碑
- 66 かもめの水兵さん歌碑
- 67 水の守護神
- 68 エル・カミーノ・レアルのミッシェンベル
- 69 西洋理髪発祥之地
- 70 山本正道 «赤い靴はいた女の子像»
- 71 インド水塔 (1939年)

### F. 横浜港大橋

- 72 横浜航路の航行管制信号 (屋上にあり、遠方から)
- 73 旧大橋橋を支えた螺旋杭
- 74 国際客船ターミナル

### G. 象の鼻パーク

- 75 象の鼻防波堤
- 76 象の鼻テラス
- 77 椿昇 «時をかける象»
- 78 谷川俊太郎 «象の鼻» での 24の質問
- 79 開港の丘・タイムカプセル
- 80 象の鼻変遷案内
  - D.海岸通り (山下公園通り) に沿って 55へ

### H. 日本大通りに沿って

- 81 開港資料領事旧館 (旧英国領事館、通り抜ける)
- 82 日本大通り風景 (高低差確認ポイント)
- 83 神奈川県庁 (平日見学可)
- 84 運上所跡碑
- 85 外国郵便創業の局プレート
- 86 電信創業之地
- 87 横浜情報文化センター (1929年建造、旧館見学可)
- 88 近代土木遺構 (古いガス管、水道管など)
- 89 旧居留地消防隊地下貯水槽
- 90 «新聞少年の像»
- 91 横浜地方・簡易裁判所 (1930年建造)
- 92 三井物産横浜ビル (1911年建造) (日本初の鉄筋コンクリートビル)
- 93 THE BAYS (旧関東財務局)

### I. 横浜公園

- 94 プラント胸像
- 95 日本庭園
- 96 旧岩亀楼碑
  - J.横浜市役所付近の 99へ

### J. 横浜市役所付近

- 97 ベイスターズ優勝記念碑
- 98 神奈川県電気発祥之地碑
- 99 横浜市役所
- 100 旧横浜市庁舎遺構
- 101 港町魚市場跡

